

案内人



東庄町観光ガイドの会

天保水滸伝や千葉氏、東氏などに関する案内を行っています。会員は随時募集中。

☎ 東庄町観光ガイドの会 ☎080-8757-4750

歴史をめぐる散歩に出かけよう

東庄 散歩

ぶらり歴史めぐり

vol.1

東大社や諏訪神社などの由緒ある寺院、東氏の居城だった須賀山城址、天保水滸伝の史話を伝える遺跡など、東庄町にはたくさん歴史遺産があります。「東庄散歩ぶらり歴史めぐり」では、東庄町の歴史遺産を取り上げ、観光ガイドの会がそれぞれの見どころをお伝えしていきます。日ごろのお散歩コースに東庄の歴史遺産も加えてみませんか？

「東庄散歩ぶらり歴史めぐり」第1回は、天保水滸伝発祥の地・勢力山（金毘羅山）と延命寺の2か所のスポットをご紹介します。

さあ、出発！



レンタサイクルのレンタルもできるよ！
(事前申し込みが必要です)

天保水滸伝ってどんな話？

江戸時代後期にあった、^{さきがわしげぞう} 笹川繁蔵と^{いいおかすけごろう} 飯岡助五郎の2人の^{きょうかく} 侠客の勢力争いを描いた物語。代々醤油醸造をしていた村の富豪・岩瀬家に生まれた笹川繁蔵は、大の相撲好き。江戸に出て「岩瀬川」を名乗るも1年で故郷に戻り、賭場を仕切っていた芝宿の文吉より縄張りを譲り受け、笹川一家を張ることになる。一方、下総一帯に勢力を誇っていた飯岡助五郎は、繁蔵の勢力が増すことに危機感を持ち、暗殺を模索する。繁蔵は38歳で殺害され、子分^{せいきとみごろう}の勢力富五郎が数度敵討を試みるも果たせず、富五郎は500人の追っ手に^{ろうじょう} 囲まれ、^{こんびら} 籠城していた金毘羅山（勢力山）で自害した。この立てこもり事件を、中国4大奇書の一つ「水滸伝」になぞらえて「天保水滸伝」と呼ぶようになった。



緑豊かな遊歩道



遊歩道の出発地点の近くからは、夏目の堰を望むこともできます。鳥たちのさえずりや季節の植物も楽しめます。



遊歩道の案内図。県民の森第2駐車場から福聚寺に向かう途中にあります。

1

自然を感じながらハイキング気分を

勢力山(金毘羅山)

小南(県民の森近く)

県民の森から往復約800mの遊歩道が整備されており、終点は勢力富五郎自刃跡となっています。風が通り、木々が日差しを遮るので夏でも涼しく、ハイキングにぴったり。ただし、急な階段があるので、足腰に自信のない方は無理をしないようにしましょう。虫よけスプレーも忘れずに。

ココが見どころ!

天保水滸伝発祥の地 「勢力富五郎自刃跡」

繁蔵の子分であった勢力富五郎が、繁蔵の死後、飯岡側に報復しようとするも果たせず、500人の追っ手に囲まれ自害した地。それから「勢力山」と言われています。



▲地元の方々が建立した「勢力量神」の碑

2

勝負運がアップするパワースポット

延命寺

笹川い597

笹川繁蔵の碑や、剣客・平手造酒、勢力富五郎の墓などがあり、天保水滸伝ゆかりの場所でもあります。笹川繁蔵の碑は昭和15年に地元の有志が建造。昭和7年に銚子市で発見された繁蔵の遺骨が葬られています。

ココが見どころ!



延命寺にあるサイコロを象った勝負石にさわると、勝負運がアップするといわれています。受験生や宝くじの当選を願って来る人など、ご利益にあずかるうとたくさん訪れる人が訪れます。

「笹川繁蔵の勝負石」 さわって帰ろう

東庄町観光ガイドの会 会長 土屋浩政さん

東庄町観光ガイドの会 会長 土屋浩政さん



天保水滸伝関連の碑が立ち並ぶ



大きなイチョウの木もあります。諏訪神社が近いので、お散歩コースに加えてみませんか。